



# そげっば通信 9月

●あなたと市民センターをつなぐ情報紙

曾慶市民センター  
曾慶字神蔭32-1  
☎ 0191-75-2244  
FAX 0191-71-1019  
Email: ynt\_sogei@yahoo.co.jp

## 市道大東千厩線道路改良工事

### 一車線5m道路を基本に推進



理事・役員のほぼ全員が出席し、活発な意見が出されました。

市道大東千厩線（曾慶工区）の道路改良については、平成29年度に早期着工・完成の要望を出していましたが、用地取得が難航し曾慶工区は未だにルート決定にも至っていませんでした。地域の優先順位一番

で要望している中、今年度で大原工区が完了することにより、このままでは同路線の継続性が失われ、来年度以降の予算確保も困難になることから、市役所大東支所産業建設課の要請を受け、地域としての意見を聞くために、結いネットそげいの理事会として開催しました。

これまでは二車線道路として要望してきましたが、なかなか用地の折り合いが付かないことから、現道を基本とした一車線の5m幅規格道路とするのはいかがでしょうかという市からの提案がありました。また、一車線であっても、狭い部分の解消や待避所の設置、排水問題など大きく改善されると説明がありました。さまざま意見が出された中ではありましたが、採決の結果、賛成多数で市からの提案に沿って推進していただくことになりました。

早期に改良工事が終了し、利用が促進されることを望みます。

### ●若者世代の意見を計画に

結いネットそげいの第2期地域づくり計画策定の際に、若者の意見をもっと取り入れる必要があるという声が多かったことから、自治会から推薦を受けた地域の若い世代の皆さんが集まり、ワークショップ等を経て意見を計画づくりに反映させていただきましたが、今年は「若者検討チーム」として9月までに4回の会議を重ね、会の名称や今後の活動の骨子が決まりました。

### ●グループLINEで情報共有

9月9日に開催した第4回の

会議では、団体の名称を「そげい若者会議 わぎやすたーず」と決定、情報交換と共有の場としてグループライン（LINE）を作りしました。今後の活動としては、地域の困っている人たち（特に高齢者）の支援を柱として、共同作業や各種交流も通して仲間づくりを進めることとしました。

### ●困りごとの調査を行います

まず手始めとして、地域の困りごとの調査を行い、その中から自分たちでできることを選んで活動していくこととしました。動き出した「わぎやすたーず」の活動に注目です。

## そげい若者会議「わぎやすたーず」始動!



会議は楽しく和気あいあいと



早速LINE交換とグループ作成サクサクできるのも若者です

◎別途配布した「地域の困りごと調査」にもご協力をお願いします。

## ポールの効果を実感!

今年度第3回目となるウォーキング教室が9月14日に開催され、参加した12名が3区～4区のコースをポールを使って歩きました。講師は健康運動指導士で冬場の脳トレ&軽体操でおなじみの佐藤恵先生。前の沢公民館に集合した参加者は、先生から正しいポールの使い方を教えていただいたあとスタート。途中、4区の熊谷勲さん宅に立ち寄り、室根山を借景した見事な萩の花を眺めながら休憩し、約3キロの道のりを歩きました。参加者のひとり「見慣れた風景の中でも新鮮で楽しく参加できた」と話していました。



暑い日でしたが、木立の中は気持ちよく歩けました。

## スマホの基本操作を学ぶ



講師の皆さんの丁寧な説明で楽しく学習

曾慶地区センターを会場として、9月6日に『スマホ教室』を開催しました。15名の参加者は、ドコモショップ一関東店の講師3名の指導によりスマホの便利機能や、調べものなどの基本操作を学びました。参加者の皆さんからは「気楽に参加し楽しく学習できた」「またお願いしたい」など感想をいただきました。市民センター事業として初めての事業でしたが、みなさんからとっても好評をいただいたので、第2回目のスマホ教室を11月に開催する予定です。

曾慶地区福祉推進協 敬老事業

## 敬老者に記念品を贈る



各自治会から協力いただいた皆さんが手分けして記念品を配布しました。

「敬老の日」の9月19日、一関市と市社会福祉協議会、曾慶地区福祉活動推進協議会共催による敬老事業が行われ、曾慶地域在住の80歳以上の方に一斉に記念品が贈られました。このうち曾慶地区福祉活動推進協議会からは、小学校の子供たちによるメッセージと紅白大福、「そげっば」をデザインした手ぬぐいが贈られました。敬老者の皆さん、末永くお元気で過ごしてください。

今年度における曾慶地区の80歳以上の方は194人、米寿を迎えた方は10人、卒寿は12人でした。また、100歳以上の方は4人でした。

## 一閑張りに挑戦

女性ふれあい学級『一閑張り教室』は9月13日、14日、15日の3日間、曾慶地区センターを会場に開催されました。講師は大原在住で手芸やガーデニングなど幅広く取り組まれている大原恵子先生。19人の受講者は素材の竹ざるに和紙を糊で貼り、それぞれ好きな柄の布や紙を貼り着色し、柿渋で仕上げるまでの全ての工程を体験しました。長時間の制作で苦労はありましたが、個性豊かな美しい作品の数々が出来上がりました。時間と共に色合いも変化するというので、生活作品展での展示が楽しみです。



自分だけの作品づくりに精を出す受講者



# 市花いっぱいコンクール 曾慶地区の花壇が大健闘!

一関市民憲章推進協議会で開催した「令和4年度一関市花いっぱいコンクール」の審査が8月3日から18日にかけて行われ、入賞花壇が決定しました。令和4年度は同コンクールに市全体で156点の応募があり、113の団体・個人が入賞しました。

そのうち曾慶地域の花壇は、一般花壇部門で最優秀賞となった佐藤ふじ子さん(2区)を初め、7つの花壇が入賞するなど大健闘を見せました。市全体審査の表彰については、10月26日(水)開催の市民憲章推進大会で行う予定です。

## 《大規模花壇部門》



個人の部 **優秀賞**  
佐藤和子さん(2区)



地域の部 **奨励賞**  
曾慶第4区自治会

## 《一般花壇部門 (大東地区)》

個人の部 **最優秀賞** 佐藤ふじ子さん(2区)



ふじ子さんの花壇は1枚や2枚の写真では収まりきれないほどのスケール!



## 《チャレンジ部門》

今年度新設された部門です。新たにコンクールに応募した花壇が対象です。 ※ 地域審査のみ



地域の部 **銀賞**  
曾慶3区小森班



地域の部 **銅賞**  
曾慶第13区自治会



地域の部 **優秀賞**  
曾慶第1区自治会

学校・企業の部 **優秀賞** 曾慶市民センター





# 『曾慶地区生活作品展』を開催します!

今年度も新型コロナウイルス感染拡大に配慮し、文化祭に代わり芸術文化活動の成果発表と鑑賞機会の場として「生活作品展」を開催します。

【期 間】令和4年10月29日(土)～令和4年10月30日(日)

【時 間】29日(土)…午前9時～午後4時  
30日(日)…午前9時～午後3時

【場 所】曾慶地区センター 多目的ホール

※来場の際は、マスクの着用、手指消毒、玄関ホールでの機器による検温、氏名等の記入にご協力をお願いします。



## 生活作品展

皆さんの作品をどんどんお寄せください!  
手芸作品、書道作品、絵画、写真、木工作品など身近にある芸術作品大歓迎です。

【出品方法】

- 団体 ⇒ 団体毎に取りまとめます
- 個人 ⇒ 10月26日(水)までに直接市民センターへ

【搬入】

10月28日(金)午後2時30分～午後5時

※出品票は市民センター窓口にあります

【搬出】

10月30日(日)午後3時～午後4時

◀各地区自治会、曾慶保育園、養護老人ホーム、JA女性部、結いネットそげい、ほか個人作品など▶

## 新そば粉販売します!

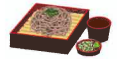
両日 午前11時～午後2時  
～2日間で限定100食～

(なくなり次第終了となります)

◎希望の方には当日打ってお渡しします。

◎特製そばつゆはサービスします。(ペットボトルはセンターで準備しますが、ご希望の方には持参した容器にお分けすることもできます)

2人前 600円



## 特別企画展

～ビンテージオーディオで聴く昭和の音楽～  
(故)須藤良作さんの遺品である真空管アンプと、昭和時代のオーディオを使って、懐かしいレコードを聴くことができます。



## ジャンボかぼちゃ

### 重さ当てクイズ

今年はどなかぼちゃが出てくるかお楽しみに! 皆さんには、触らずに「見て」かぼちゃの重さを予想してもらいます。たくさんの投票をお待ちしています。



## 結いネットそげい展

平成27年の設立から7年が経過し、今年度から曾慶市民センター等の指定管理を受託した「結いネットそげい」の活動の成果と各チームの活動等を紹介します。



news!

## 大判焼き

美味しいあんこがたっぷり!  
住田町より、『大判焼き』が  
出店します。焼きたての熱々  
をどうぞ。



◎曾慶体協・協賛事業

## ニュースポーツ大会

10月30日(日)13時30分～曾慶体育館  
ご参加お待ちしております。

■種目…輪投げ、ユニカール  
ポッチャ(体験)



## 秋の平泉ウォーキング

◎昨年春に行った平泉ウォーキングですが、好評につき今回は秋の平泉を歩きます。中尊寺から毛越寺にかけての変化に富んだ美しいウォーキングコースを楽しく歩きましょう！

◆日 時…令和4年10月19日(水)  
8:30～15:00(予定)

◆集合場所…曾慶地区センター  
※バスで移動します。

◆定員…15名

◆申込み…令和4年10月12日(水)まで  
※詳しくは別に配布するチラシをご覧ください。



◎来年4月から…

## 出張所の開所日数等を見直し



現在曾慶市民センターと併設されている渋民出張所ですが、その見直し方針(案)の住民説明会が9月17日、曾慶地区センターで開催され、地域住民の皆さん14人が一関市役所大東支所の関係者の説明に耳を傾け意見等を述べました。説明会では、人口減少と出張所での取扱件数が大幅に減少している状況、デジタル化の推進、大東地域以外の出張所はないこと等の説明がありました。

一関市の健全な財政維持のためには、これまで通りのサービスを今後ずっと維持していくことが困難な状況を踏まえ、出張所の開所日を火・木曜日の週2日とし、開所時間を9:00～16:00の6時間(昼1時間の休憩あり)とするご提案がありました。

参加者からは ▷当初は週1日だけの開所だったが、2日になったことは感謝する▷出張所(支所)ができた頃とは時代が違うからやむを得ないのでは…等と容認する声もあった一方、▷半日ずつでもいいので4日ぐらいの開所はできないのか▷デジタル化はいいが、もっとサポートが必要ではないか…といった声も出されました。今後、他地区での意見も踏まえ、来年4月からの見直しの予定です。

## 今年度も曾慶地区芸能祭は中止とし 芸能祭記録映像上映会を開催します

9月2日に開催した三役会議において、例年行っている曾慶地区芸能祭は新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて今年度も中止とし、代わりに昨年好評だった「曾慶地区芸能祭の記録映像上映会(パート2)」を開催します。

■期日：11月27日(日) ※ 詳細は後日

### 《今後の予定》

#### ◎秋の剪定教室

9月29日(木)9:00～ 曾慶地区センター周辺

#### ◎市民と議員の懇談会

10月6日(木)13:30～ 曾慶地区センター

#### ◎曾慶地区グラウンドゴルフ大会

10月23日(日) 13:30～ 曾慶グラウンド

#### ◎家庭教育学級「わくわくガクさん」

10月26日(水) 10:00～ 曾慶地区センター

## 農機バンク

使わなくなった農機等をお持ちの方、粗大ゴミや廃品回収業者さんに出す前に情報をお寄せください。但し、金額等の交渉は当人同士でお願いいたします。

右記の詳細情報は曾慶市民センターで閲覧できますので、希望の方は市民センターまでお越しいただくか、ご連絡いただければ取り次ぎいたします。

\* 農業機械 “など”

ほしい人といらない人の情報交換コーナー\*



### 《売りたい》

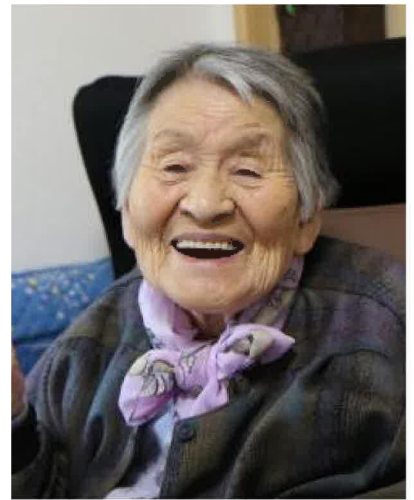
- ①オート播種機(苗箱) ②ラクター(クボタ) ③ディーゼル発動機(クボタ/6PS) ④粃精米機(丸七製作所/M2/原動機なし)
- ⑤米選機(サタケ/デジタル計量器付/GPA330/100V) ⑥ハーベスター(ヤンマー/ディーゼルエンジン) ⑦金網製トレイ(100枚) サイズ120×60×3cm ⑧自動カナ ⑨コンプレッサー(日立200V) ⑩井戸ポンプ(テラダ製・新品) ⑪ハーベスター(クボタ/HH400) ⑫耕運機のタイヤ2本(6-12/1本新品/1本サイド亀裂有) ⑬ハロー2台(2.5m/26PSのトラクター) ⑭エアーコンプレッサー(カトウポンプ/100V) ⑮動力散布機(イセキ/タンク20L) ⑯動力噴霧機(キャスト付き/ノズル付き/有光/CSR540)

### 《買いたい》

- ①運搬機(油圧ダンプ付き)

# そげいびと

## ⑥ 菅原 眞志子さん (95) ～曾慶字角地～



**農水省蚕糸試験場に勤務  
東京大空襲、そして帰郷**

みんなから「まこちゃん」と呼ばれ親しまれている眞志子さんは明るく社交的な性格で、運動会や芸能祭など人が集まる場所では進んで盛り上げ役を買って出ました。

昔のことを尋ねると、じっと目を閉じ、紙に書きながら確かめるように話してくれました。眞志子さんは昭和2年生まれ、16歳で学校を卒業すると一戸の蚕糸試験場で養蚕の勉強をしました。その後同試験場の紹介で、現在の東京都杉並区にある農水省蚕糸試験場等で仕事をしましたが、時は第2次世界大戦のさなか。空襲がひどくなり、何度も防空壕の中に逃げ込んだことを振り返り、「B29が頭上を飛び交っていたことは忘れられない」と話します。戦火を逃れ、実家に帰ってからは干廐にある会社に山を越えて歩いて通ったことも。その後に曾慶にあった農協

で窓口や貯金の仕事をし、結婚してからは夫婦で養蚕、葉たばこ、ニンニク、キウウリ：など農業に精を出して、3人の子供を育て上げました。

**好きな手芸と人との交流で  
余生を楽しむ日々**

農業を引退してからは趣味の化粧まわしを作ったり、夫の年夫さんから教えてもらった布草履作りも始めましたが、持ち前の器用さですぐに腕を上げて「年夫さんよりも上手になったら、年夫さんは草履作りをやめてしまったの」と笑います。また、この頃から地域との交流の輪も広がりました。

戦争や夫との死別など辛い過去もありましたが、昨年は同居する次女夫婦が自宅をリフォーム、今は快適で穏やかな生活を楽しんでいます。

曾慶での暮らしは90余年、リフォームの間の3カ月間は仙台にいる長女家族と過ごしたため、「早く曾慶に帰りたいかった」と笑いますが、何十年ぶりの娘との生活はいい思い出になったようです。3人の孫、6人のひ孫の成長は何より楽しみですが、週3日のデイサービスで人と触れ合うことも新たな楽しみになりました。

取材を終え、お別れを告げると「まだ来てほしいよ。必ずね!」と玄関まで見送りに出て手を振ってくれた眞志子さんの笑顔は、会う人みんなに元気を与えてくれそうです。

### 曾慶の人口と世帯数

令和4年9月1日現在

行政区	世帯数	男	女	合計
1区	27	38	27	65
2区	68	98	95	193
3区	55	68	80	148
4区	50	67	79	146
5区	63	80	73	153
6区	42	66	61	127
7区	28	46	42	88
13区	33	49	44	93
こはぎ荘	49	20	29	49
合計	415	532	530	1062
前月比	1	3	1	4



**曾慶百景**  
箱石 (はこいし)

4区の山ノ沢地内にあり、二ノ上山頂(345m)に向かって行く途中にある大きい石です。下から見上げるとその存在感に圧倒されます。一番高いところは地上から4m、長さは6m程もあり、上面は2畳以上もあって5～6人は座れます。古い言い伝えによると、天下太平、雨乞い、五穀豊穰、悪虫防除等を祈願した石と言われています。昔は農作業が一段落すると、地元の人たちが石の上で景色を眺めながらお酒を酌み交わし、おさなぶりをしたそうです。